地 域 │ 九州 (佐賀県) │ 事業分野 │ 製造(陶磁器) │ 認定日 │ 平成17年7月15日

テーマ名: 画期的な陶土による軽量強化磁器の製造・販売

~強い、軽い、冷めにくい独自の磁器により九州伝統産業の高付加価値化を図る~

事業計画の概要:

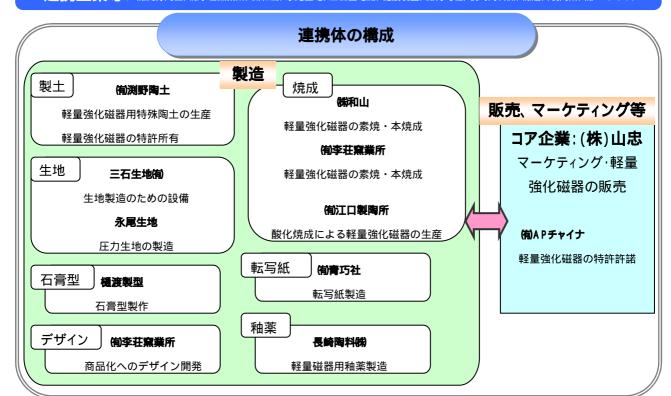
連携企業が有する特殊な陶土をもとに、コア企業を中心に、軽さを求めると強度が落ち、強度を求めると重くなると言われている陶磁器の常識を覆す、「軽くて強くてさめにくい」という性質を有する「軽量強化磁器」を創り出した。

特殊な釉薬や特殊な焼成技術等を持ち寄る連携体の構築により、陶土に特殊原料を配合することで、磁器の素地内部に、5ミクロン以下の気孔が多数開き、軽量化を実現。従来の普通磁器に比べ、薄さを加え軽量率で約20%軽く、曲げの強さにおいても、普通磁器の約1.8倍、衝撃に対する強さも約1.7倍を達成した。圧縮応力の原理を応用し、強度を一般の磁器より大きくした。

航空機機内用食器、学校給食用食器、介護用食器等新たなマーケットの拡大が見込まれている。

コア企業:(株)山忠(西松浦郡有田町:陶磁器卸売業)

連携企業等: 何渕野陶土、何李荘窯業所、㈱和山、永尾生地、三石生地伯、樋渡製型、何青巧社、長崎陶料㈱、何江口製陶所、何APチャイナ



連携の特徴

製土、成型、生地成形、成型企画デ

ザイン、焼成、販売のそれぞれの過

程における技術確立

・縦並びの下請け生産体制から、対 等な立場での横並び組織の確立

支援予定メニュー

- <支援金融機関>
- <希望支援灯1-> 補助金

新事業

軽く、強く、冷めにくい という特徴を持つ「軽

量強化磁器」素材製

品の生産技術開発

市場性

航空機機内用食器

学校給食用食器

自立支援食器 (介護用食器)

